

川島前代表の慰霊と行仙宿巡回整備

◇実施日 8月11日(金・祝) 晴

◇参加者 沖崎吉信、児嶋道夫、生熊敏男、中前偉、濱野兼吉、湯川一郎、大江加予子・徳子、高階美根子、梶野照雄、山口康宏 11名

8月11日は山の日の祝日で、川島前代表の命日である。絶対に忘れることが無い日でもある。急逝現場での慰霊に中前君を含めた11名の皆さんが参加して下さった。午前9時、下北山村役場駐車場に集合して行仙宿登山口に向かう。



荒れた路面を補修



川島前代表の慰霊



毛布を運ぶ

四ノ川林道に入ってすぐの荒れた路面に、持参した土嚢袋3袋の砂

利を撒いたが、3袋程度では太平洋に目薬を落とした程度で路面の改善には程遠いが、こうした地道な活動を続けるのが我々の使命である。

登山口に着きモノレールに荷物を積みこむ。毛布や背負子、ザックなどで荷台は満載になった。

全員が川島前代表の供養塔前に集まり、中前君から有難い心経や念仏を唱えて頂いた。

モノレール終点から毛布を分担して小屋に運ぶ。少し遅く着いた湯川君も追いついてきて全員が揃った。



行仙宿に到着



雨漏りで濡れる



煙突を掃除する

本日は洗濯済み毛布の荷揚げと汚れた毛布の荷下ろし、台風7号への対策、お堂の御供交換などが主な作業となる。

小屋に着き、毛布の収納や持ち降ろす毛布の荷造り、お堂の御供交換などを済ませたが、ちよつと厄介なことが判明した。ストーブの煙突付近からの雨漏りだ。以前にも煙突の雨漏りがあったが、シ

ーリング処理で雨漏りは止まっていた。今回は前と同じようにストーブ内に水が溜まっているだけではなく、西側の床も濡れている。囲炉裏の排煙塔だった四角い筒を水が伝って、ストーブ周りのフェンスに当たり床に広がったと思われる。脚立を立てて上部を観察してみるが、雨が降っていないのでどこを水が伝っているのか判らなかつた。

児嶋さんは、煙突の先端がH型になっているためだと言い、笠型に交換するようだ。梶野君は次回にシーリング材を用意して、隙間を塞いでみるそうだ。



持ち降ろす毛布

本日の参加者

アセビを切除

午後1時半から下山開始、今日も毛布18枚を降ろす。

途中の第2ベンチから下、モノレール延伸予定ルート of 馬酔木をノコで20本位をカットする。人数は揃っていたが、手ノコなので20mほど進んだだけだった。

毛布をモノレールに積んで登山口に下山。帰路も四ノ川林道の側溝

を掃除した。



林道側溝の掃除

10名が力を合わせると、流れの無かった場所に水が流れ出した。2、3人ではとてもできなかったと思う。

今年には行仙宿に行く度に毛布の揚げ降ろしを行っている。女性陣が手作業で洗濯してくださっているが、過去に毛布の全数を洗濯した記録が無い。山彦始まって以来の作業で、携わられている女性陣には厚くお礼申し上げます。

台風や突然の雷雨などで天候の不安定が続いている。おまけに猛暑の日も多い。どうぞ皆さんご自愛ください。(記：沖崎)

行動タイム

下北山村役場駐車場09:00→09:42 補給路登山口→11:05 行仙宿 13:00→14:10 補給路登山口